



NPO法人生徒会活動振興会

事業報告書

令和六年度後期（第四期）
各ユニット・室

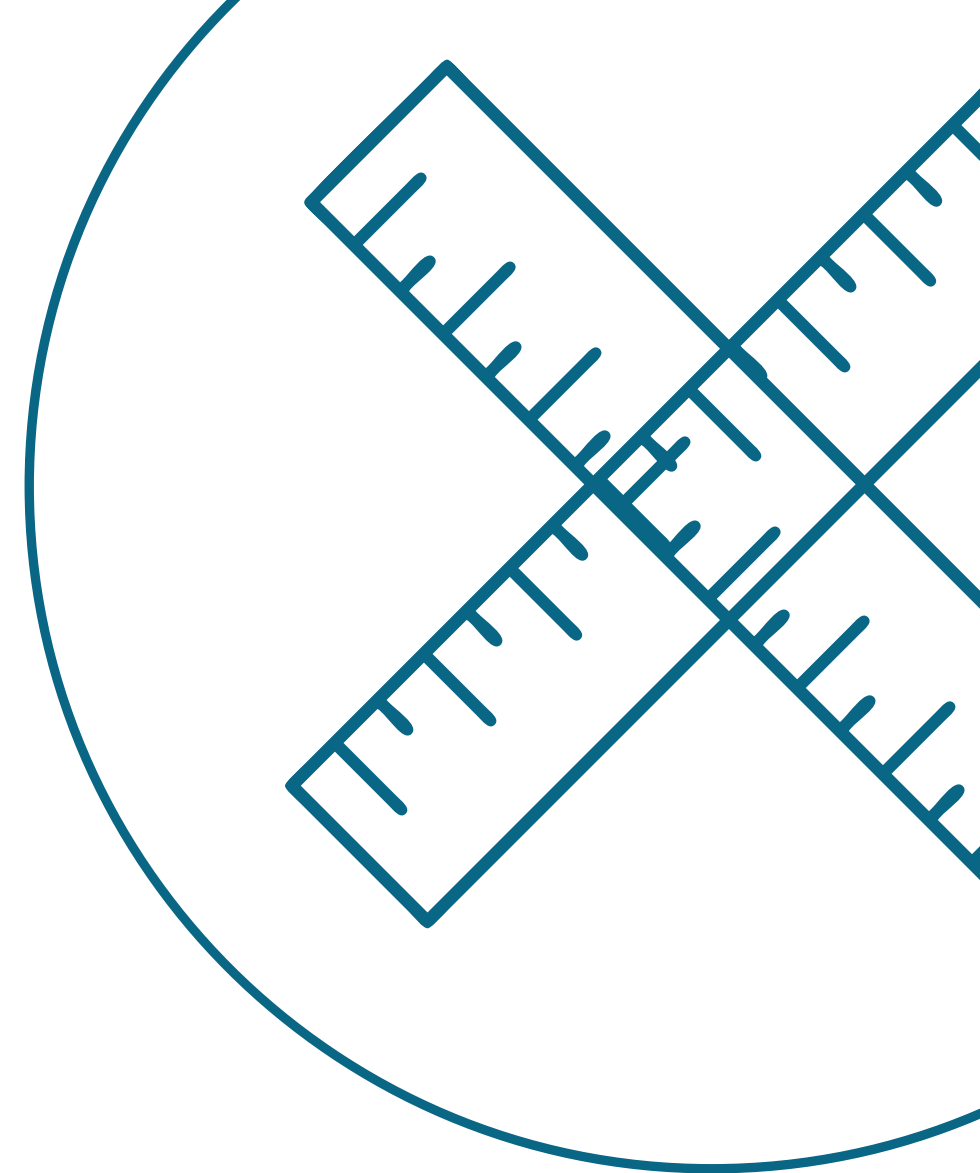
2025.4



Content

目次

- 全体総括
- 各ユニットからの報告
- 各室からの報告



01 全体総括

各種事業に対する総括

今期はマスタープラン策定後、組織形態が変わってから初の活動期であり各ユニットの事業においても、より目的意識の向上や事業内容の充実化が求められた。

その中で、全体としてはかねてより継続してきた交流会の企画や実施、新たなユニットによる新事業の展開にも挑戦するという動きが見られた。一方で、未開催の企画や調査段階で第4期活動終了を迎えた事業もある。

今後は、全事業において対外的成果の獲得を目指していくことが必要となる。

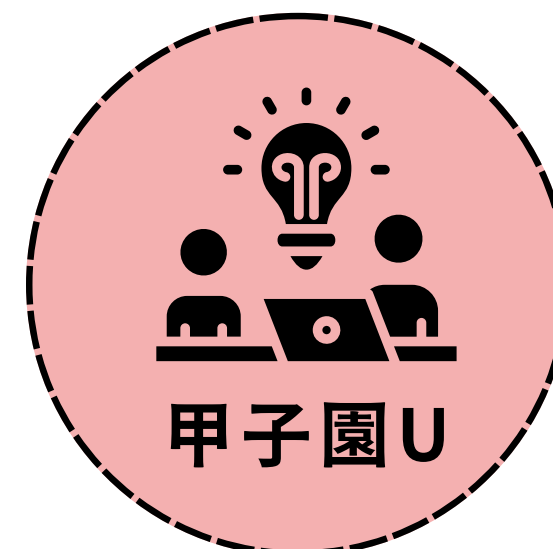
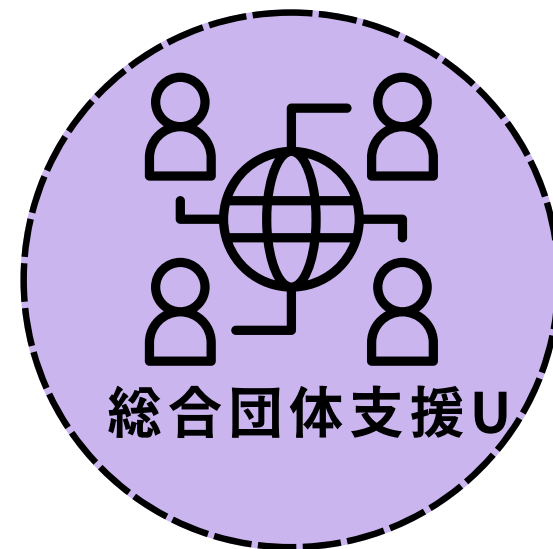
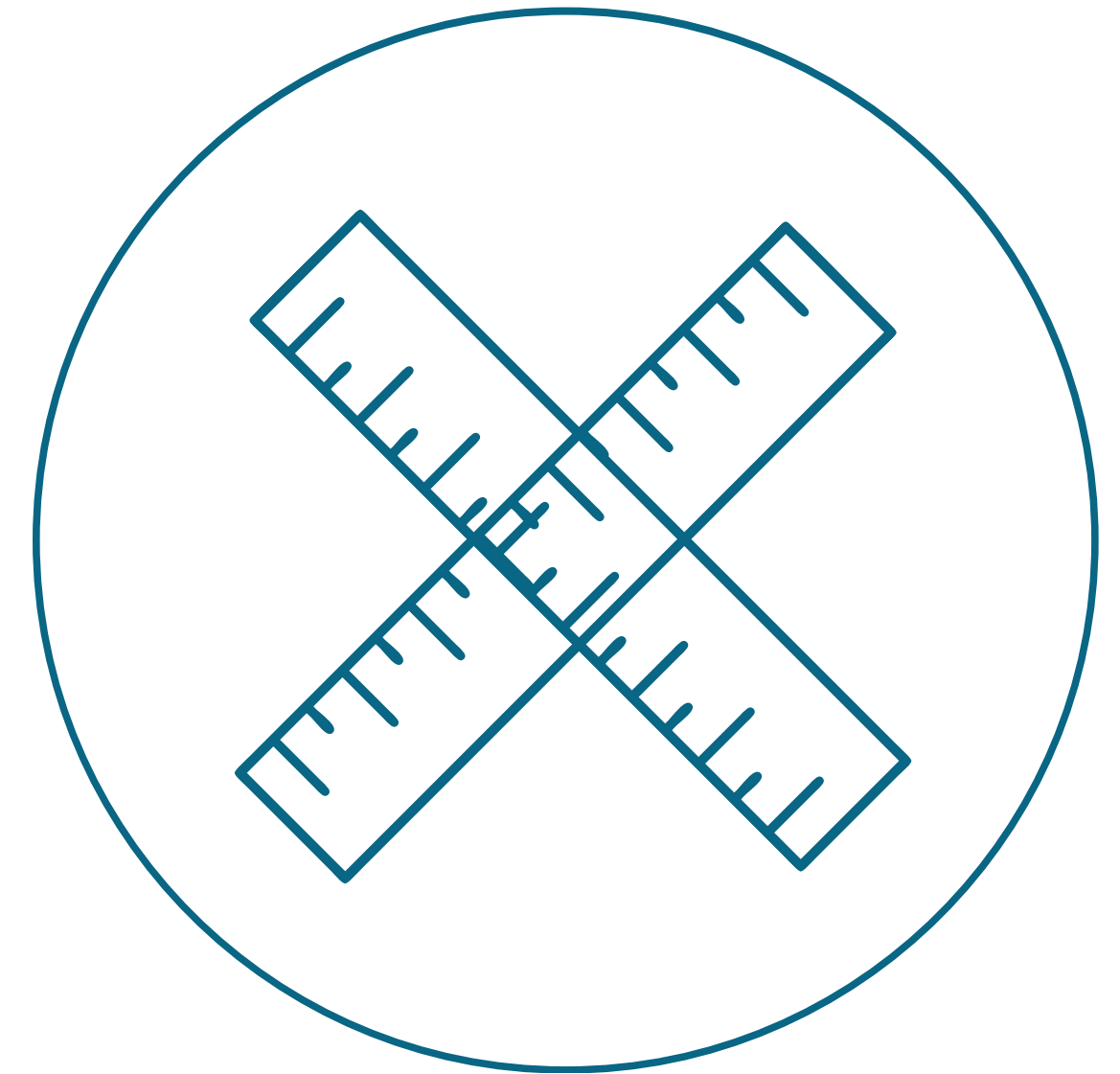
運営基盤に関する総括

第4期では、団体がNPO法人化されたことが大きな転換点だったと言える。社会的信用を得ることにより活動の基盤を整えることに各室が尽力していた。法的手続きや人材マネジメント・名簿管理・広報活動等はもちろんのこと活動基盤となる環境の整備などが法人化によりさらに促進されたと言える。

今後も基盤領域では活動基盤の維持、向上に力を入れるとともに、団体の認知拡大を特に重視し、広報分野に力を入れていく必要がある。

02 各ユニットからの報告

事業報告対象ユニット



編集支援U

項目	編集支援事業
事業目的	編集事業によって各学校の特色ある活動を生徒会関係者だけではなく、それ以外の人々にも発信するため。
事業概要	既存記事の保守及び新規記事の執筆。
実施スケジュール	通年
従事者人数	2名
事業費	0円
成果	閲覧数8031回を達成。

特定団体支援U

項目	福岡生徒会連盟支援事業	東北生徒会交流委員会支援事業
事業目的	福岡の生徒会の交流を活性化し、各校生徒会の発展に寄与する	東北の生徒会の交流を活性化し、各校生徒会の発展に寄与する
事業概要	現地の高校生からの要請に応じ、福岡県生徒会連盟の設立および各種活動について伴走支援を行った。また、福岡県生徒会連盟が主催となり、福岡県内の高校生を対象にした企画を実行した。	現地の高校生からの要請に応じ、東北生徒会交流会の設立および各種活動について伴走支援を行っている。 また、2025年3月31日には第1回となる交流イベントを実施し、そのイベントを皮切りに東北生徒会交流会の規模拡大を図る予定。
実施スケジュール	12月に団体の設立および対面企画を実施、その後オンライン交流会等を実施。	2025年3月 第1回交流会
従事者人数	1名	1名
事業費	0円	0円
成果	第3回生徒会交流会を東福岡高校にて実施、200人以上が参加。	第1回の交流会を実施。約10名が参加。

総合団体支援U

項目	総合団体支援事業
事業目的	生徒会団体の活動を促進し、各校生徒会の発展に寄与する
事業概要	生団体、生徒会団体に直接話を聞き、彼らのニーズ把握しそれに見合った支援を実行する。 イベントや講習会、場所や費用の提供など。
実施スケジュール	1月にインスタを通じてアンケートを配布 3月頭、アンケートを元にし団体所属者と面談を実施 新年度より、実際の支援に向け準備予定
従事者人数	4名
実施費用	0円
成果	ヒアリングを実施。対外的な成果はないが、ヒアリング結果の事業反映を検討中。

二校間交流支援U

項目	二校間交流支援事業
事業目的	イベントを通じて、他校との関わりを深めるだけでなく、自校に近い境遇の学校や自校にはできないことに取り組んでいる学校を探し、今後の生徒会同士の二校間交流をより有意義かつ活発なものとするため。
事業概要	生徒会活動を行うにおいて、外務活動をより活発に行う為に、生徒会同士の出会いに着目し、行うイベントである。生徒会役員を集め、短時間の二校間交流を複数回行う。このイベントをより広めていくために、生徒会活動振興会でイベントを開催するのではなく、他の団体でも運営できるようなフランチャイズ化を目指していく。 第4期では、フランチャイズ化等の今後の活動に向けた資料作成等を行っている。
実施スケジュール	2月に資料作成を開始
従事者人数	4名
実施費用	0円
成果	第4期中の開催なし。

甲子園U

項目	甲子園事業
事業目的	個人として参加するイベントとは違い、学校として公式に生徒会甲子園に参加することで、生徒会活動への熱意を教員など大人・社会へアピールし、生徒会活動を重視してくれるような、生徒会役員と協働する学校・社会の実現のため。
事業概要	日本全国の中学・高校の生徒会役員が集い、生徒会活動の成果発表プレゼンを行う。 実行委員会がその内容を審査し、魅力的なプレゼンをした者に賞を授与する。
実施スケジュール	2月始動、12月に大会開催の予定
従事者人数	4名
実施費用	0円
成果	開催に向けて準備を開始。



特定学校支援U

項目	特定学校支援事業
事業目的	生徒会という組織がブラックボックス化されており、他校との情報交換がほとんどないため、改善の知見や刺激が得られず、活動が形骸化しているという大分県内の高校生徒会の課題を解決するため。
事業概要	「豊の国生徒会カイギ」と称して、大分大学準公認サークルOYouthとともに、大分県において生徒会活動の課題発見と目的設定を行い、他校の生徒会役員や地域の人々との協働を通じて具体的な解決策を検討し、生徒主体の活動を促進することで、若者の自己決定を支える社会の実現を目指すイベントを計画・実施まで行った。
実施スケジュール	2月24日豊の国生徒会カイギを実施
従事者人数	3名
実施費用	0円
成果	本イベントには、岩田高校、上野丘高校、大分東高校、大分柳ヶ浦高校を含む5校から計27名の高校生が参加した。協賛企業としては株式会社デンケンが協力し、広報はInstagramおよび大分合同新聞を通じて行った。参加者アンケートによると、「とても充実した時間になった」と回答した生徒が83.3%、「そこそこ充実した時間になった」と回答した生徒が16.7%であり、参加者の満足度は非常に高い結果となった。

合同学校支援U

項目	合同学校支援事業
事業目的	このイベントでは他校の生徒会との交流を通して自校の生徒会の内省をしてもらい、理想と現実のギャップと解決策についてもう一度考えなおす場を提供するため。
事業概要	生徒会活動の新たなチャレンジを数多く実行してきた大学生とともに、企画書の作成や教員への提出、交渉といった新規の取り組みを行うためのプロセスを実際に体験し、その手法や技術をレクチャーする。また、生徒会役員経験者によるパネルディスカッションでは、実際の体験談もまじえ、生徒会活動における企画実行について話し合う。
実施スケジュール	2月9日あつまれ！学校のリーダーズ実行編を開催
従事者人数	11名
実施費用	8000円
成果	課題解決の場の創出。内部含む10校が参加した。

03 各室からの報告

総務室

項目	
実施目的	事務局の円滑な業務実施のため。
実施内容	名簿作成、総会周知、会費回収、その他事務等
実施期間	通年
成果	会員の円滑な業務実施に貢献



人事室

項目	
実施目的	新入会員に対しては活動への疑問を払しょくするため。 既存メンバーに対してはマネジメントを簡易化するため。
実施内容	新入会員のオリエンテーション実施及び評価制度の構築等。
実施期間	通年
成果	会員の円滑な業務実施に貢献



法務室

項目	
実施目的	NPO法人格の取得および管理を通じて社会的な信用を向上し、活動の幅を広げるため。
実施内容	NPO法人化に関する書類の作成や提出等。 法人格の維持に関する諸業務。
実施期間	通年
成果	NPO法人格の取得および運営



情報技術室

項目	
実施目的	事務局の活動を情報技術的な側面から支援するため。
実施内容	Discordサーバーの保守管理、各種契約サービスの保守管理、HPおよびドメイン、サーバーの保守管理
実施期間	通年
成果	会員の円滑な業務実施に貢献

広報室

項目	
実施目的	生徒会活動振興会の活動情報を発信することで、本会の各種活動の効果を最大化するため。 他団体の広報支援をすることで、他団体の活動の効果を最大化するため。 他団体とのコミュニケーションを円滑に行うため。
実施内容	様々な媒体(X, Instagram, LINE, YouTube)を通して、振興会の活動や情報を発信すると同時に 生徒会コミュニティの広報活動を支援。
実施期間	通年
成果	会員の円滑な業務実施に貢献



NPO法人 生徒会活動振興会

Thank you

ご覧いただきありがとうございました。

NPO法人生徒会活動振興会 広報室